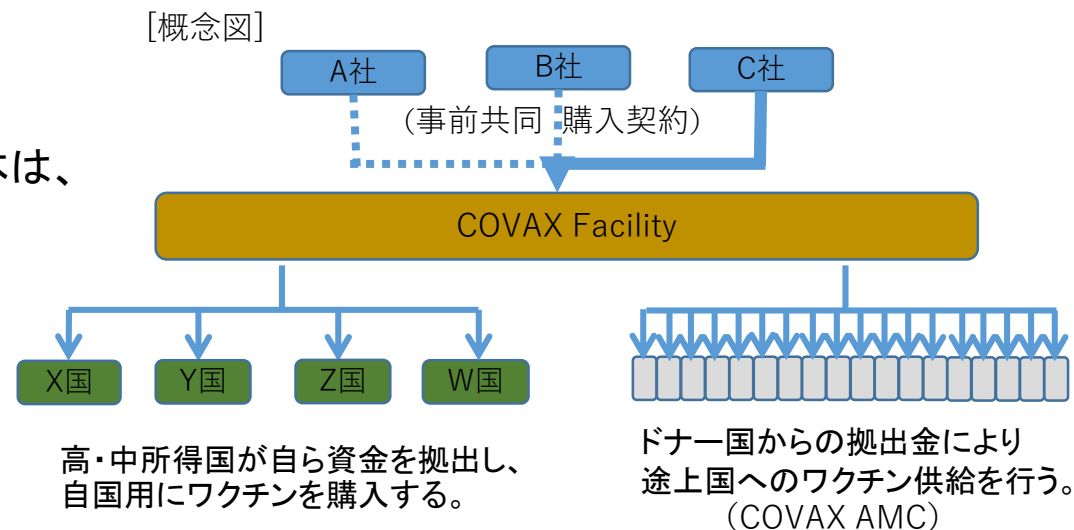


COVAX ファシリティ(COVID-19 Vaccine Global Access Facility)について

○概要

- (1) Gaviワクチンアライアンス、CEPI(感染症流行対策イノベーション連合)及びWHOが主導する、ワクチンを共同購入する仕組み。(i)高・中所得国が自ら資金を拠出し、自国用にワクチンを購入する枠組みと、(ii)ドナー(国や団体等)からの拠出金により途上国へのワクチン供給を行う枠組み(COVAX AMC)を組み合わせている。
- (2) CEPIが開発支援するワクチン及び他のワクチンを検討対象とし、幅広いポートフォリオを予定。各国におけるワクチン確保の一手段となり得る。
- (3) 高・中所得国は、拠出金をCOVAX に支払い、拠出金は開発や製造設備整備に使われる。高・中所得国を含む国際的に公平なワクチンの普及に資する。
- (4) 令和3年5月12日時点で、高・中所得国93国・地域(EU各国、加、豪、中、韓等)、途上国92国・地域の計185国・地域が参加(*)。
米国は、COVAXファシリティを通じた途上国等支援を行っていく旨表明済み。
- (5) 日本は、令和2年9月15日、契約書に署名し参加。
(COVAXファシリティへの拠出金約172億円についても支払済。)
- (6) 途上国への供給枠組み(AMC)については2億ドルを拠出済みであり、日本は、令和3年6月2日に、日本とGaviワクチンアライアンスの共催で開催されたCOVAXワクチン・サミットにおいて8億ドルの追加拠出を表明。

(*:Gaviホームページより。)



[令和3年6月16日作成]